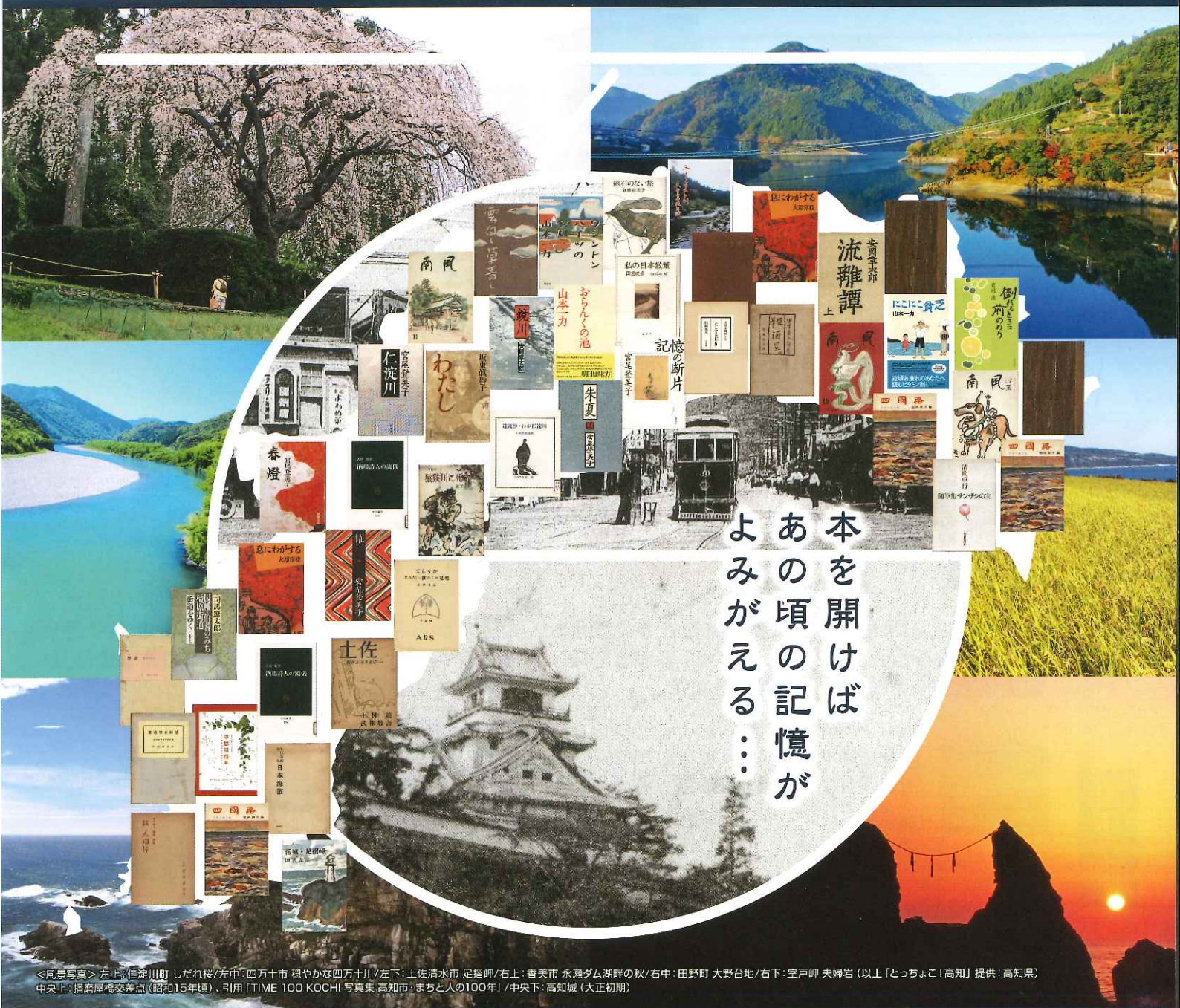


高知100年文学展

～ 大正、昭和、平成の記憶 ～



よみかえらばあとの記憶が本を開けば

<風景写真> 左上:仁淀川町 しだれ桜/左中:四万十市 程やかな四万十川/左下:土佐清水市 足摺岬/右上:香南市 永瀬ダム湖畔の秋/右中:田野町 大野台地/右下:室戸岬 夫婦岩 (以上「とっちょこ!高知」提供:高知県) 中央上:播磨屋橋交差点(昭和15年頃)、引用「TIME 100 KOCHI 写真集 高知市:まちとの100年」/中央下:高知城(大正初期)

平成31年(2019年) 4月13日(土) → 6月23日(日)

会期中 無休

高知県立文学館

〒780-0850 高知市丸ノ内1-1-20
TEL088-822-0231 FAX088-871-7857 <http://www.kochi-bungaku.com/>

午前9時～午後5時 (入館は午後4時半まで)

高知県立文学館 2F企画展示室

観覧料 400円 (常設展含む)

高校生以下無料 ※20名以上の団体は2割引

身体障害者手帳、療育手帳、
精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳及び
被爆者手帳をお持ちの方とその介護者(1名)、
高知県及び高知市長寿手帳をお持ちの方は無料。

主催 高知県立文学館 (公益財団法人 高知県文化財団)

オーテピア高知図書館 (高知県立図書館、高知市民図書館)、高知大学、高知県立大学、高知県教育委員会、高知市教育委員会、
高知県高等学校文化連盟、高知新聞社、朝日新聞高知総局、毎日新聞高知支局、読売新聞高知支局、産経新聞社松山支局、
日本経済新聞社高知支局、NHK高知放送局、RKC高知放送、KUTVテレビ高知、KSSさんさんテレビ、KCB高知ケーブルテレビ、
エフエム高知、高知シティFM放送、高知県、高知市商店街振興組合連合会、公益財団法人 高知県観光コンベンション協会、
公益社団法人 高知市観光協会、四国旅客鉄道株式会社 (順不同)

<表紙写真> 北見志保子「珊瑚」長谷川書房/橋田東寿「橋田東寿歌集」斯文書院/吉井勇「人間経」政経書院、「わびすみの記」政経書院/田宮虎彦「落城・足摺岬」新潮社/田岡典夫編「日本の風土記 四国路」宝文館/司馬遼太郎「因幡・伯耆のみち・桃原街道 街道を行く27」朝日新聞社/吉田類「酒場詩人の流儀」中央公論新社/中脇初枝回録「中脇初枝展～ちゃあちゃんの里帰り～」高知県立文学館/大江湾雄「日本海流」山雅房/タカクラ・テル「かうして嬰兒(こども)がこの世へ生れた」アルス/上林麗「土佐、わがふるさとの…」中外書房/大原富枝「息にわがする」朝日新聞社、「ふるさとの丘と川」大原富枝年譜 大原富枝文学館/片岡文雄「遠流抄-わが仁淀川」混河社/宮尾登美子「春霞」新潮社、「仁淀川」新潮社、「朱夏」上集英社、「記憶の断片」飛鳥新社、「糧」下 筑摩書房/森下雨村「猿猴川に死す」関西のつり社/上田秋夫「上田秋夫詩集」/坂東眞砂子「わたし」株式会社KADOKAWA/倉橋由美子「磁石のない旅」田宮虎彦「私の日本散策」北洋社/安岡章太郎「鏡川」新潮社、「海辺の光景」講談社、「流離譚」上 新潮社/田岡典夫「とまじり」平凡社/田中真太郎「酒星」学芸社/田中英光「雲白く草青し」桜井書店/山本一「おらんくの池」文藝春秋、「ワシントンハイツの旋風」講談社、「ここにござる」文藝春秋/「南風」2巻6号、3巻10号、11号 南風会/有川浩「倒れるときは前のめり」株式会社KADOKAWA

交通案内

●高知福馬空港より空港連絡バス(奥平前行)「高知駅前」下車、北へ徒歩5分。または「高知駅」で「北はりまや橋」下車、徒歩15分 ●JR高知駅下車、徒歩20分(またはバス、路面電車を利用) ●路面電車「高知駅前」下車、北へ徒歩5分 ●バス停「高知駅前」下車、北へ徒歩5分 ●高知自動車道高知インターより車で20分(道手前を高知城方面へ)
※駐車場がございませんので近隣の有料駐車場をご利用ください。



今年は今上天皇の退位を迎え、平成という時代が終わりを告げる区切りの年です。この記念の年に、風景写真や香り、音など五感を刺激する装置を活用しながら、大正末から平成まで100年の高知の文学を振り返る企画展を開催します。

懐かしい記憶と文学が交差するこの企画展をきっかけに、皆様の中でまた新しい物語が紡がれていくことになれば幸いです。



心の記憶

2 場所

3 時の記憶

高知の味コーナー

やまもも、二口ギ、田舎寿司…高知ならではの食を描いた文学作品大集合！

香りコーナー

香りは記憶と密接にかかわっていることが知られています。ゆずや土佐茶など香りが描かれる文学作品をご紹介しますとともに、その香りを楽しめる体験コーナーを設けます。

沖ノ島から室戸岬まで高知県を舞台とした文学作品を風景写真と共に引用しながら、その土地の懐かしい記憶を呼び起こしていきます。



山川よ野よあたたかきふるさとよ
こゑあげて泣かむ長かりしかな
(北見志保子)

宿毛市・松田川

大正末から平成までの100年の歴史を振り返りつつ、その時代の中で編まれた高知の作家の作品・高知ゆかりの作品をご紹介します。



左：寺田寅彦直筆原稿「石油ランプ」
右：森下雨村愛用の釣り道具



関連企画

セミナー

「感動体験！一枚の自分史を書こう」

思い出は人生の宝もの！写真で人生の記憶を呼び起こし、1枚の自分史をつづってみませんか？

日時：2019年5月26日(日)午後2:00～4:00(開場 午後1:30～)
場所：高知県立文学館1Fホール
講師：河野初江氏(一般社団法人自分史活用推進協議会代表理事)
参加費：当日観覧券が必要となります。
また、みなさまの「思い出の写真」を1枚ご持参ください。
申込：電話または文学館受付にて事前申し込み。(定員60名)



※イメージ

ワークショップ

「ジオラマブックエンドを作ろう！」

区切りの年に「区切り」に便利なブックエンドを手作り！

日時：2019年6月8日(土)、9日(日)午後2:00～4:00(開場 午後1:30～)
場所：高知県立文学館1Fホール 参加費：当日観覧券+材料費500円(予定)
申込：電話または文学館受付にて事前申し込み。(定員30名)

朗読

朗読の会「高知100年文学(仮)」

文学館カルチャーサポーターによる、高知を描いた作品を中心とした朗読です。

日時：2019年5月18日(土)午後2:00～3:30(開場 午後1:30～)
場所：高知県立文学館1Fホール
参加費：無料 申込：不要(当日、直接会場までお越しください)

茶話会

おはなし会

高知の先人たちにまつわるお話を聞きながら、昔の高知に思いをはせてみませんか？

日時：2019年6月2日(日)午後2:00～3:30(開場 午後1:30～)
講師：古谷滋子氏(こうち男女共同参画センター「ソーレ」元館長、『ひとくちに話せる人生じゃあない』編集)
場所：高知県立文学館1Fホール
参加費：当日観覧券が必要となります。
申込：電話または文学館受付にて事前申し込み。(定員60名)



高知の女性からの聞き取りを元に編まれた『高知の女性の生活史 ひとくちに話せる人生じゃあない』

チャレンジ

高知100年文学クイズ

展示を見ながら、クイズに答えてみましょう。正解数に応じてプレゼント！

日時：2019年5月3日(金・祝)～6日(月・祝)午前9:00～午後4:00
場所：高知県立文学館 参加費：当日観覧券が必要となります。
申込：不要(当日、直接会場までお越しください)

解説

展示解説

展示会担当者による展示解説です。

日時：毎週土曜日 午後1:30～(30分程度)
場所：高知県立文学館2F企画展示室 参加費：当日観覧券が必要となります。
申込：不要(当日、直接会場までお越しください)

学校教員向け展示解説
随時承ります！
※詳細はお問い合わせ下さい。